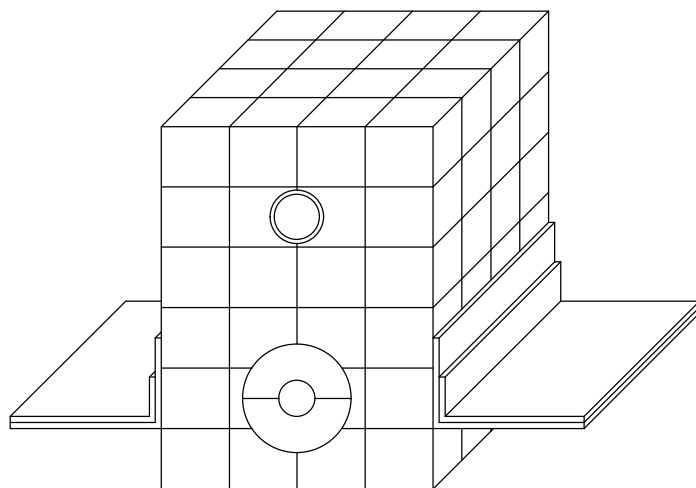


SRS-CV21-EPS 施工要領書



株式会社 エスアールエスディービー社

TEL : 0296-77-5801

FAX : 0296-78-0087

E-mail : srs-db@jeans.ocn.ne.jp

工事を始める前に

1. 必要材料

- イ) 流入桝 (溜め桝)
φ 300以上の桝 (小口径桝は不可)

- ロ) 流入管配管材料
φ 65パイプ (おおむね1.0m)
φ 65エルボ 1個 (1列に1個必要)
φ 65キャップ 1個 (")

- ハ) 洗浄管接続用材料
φ 50パイプ (おおむね0.2m)
配管用パイプ (φ 20～φ 50 おおむね2.0m)
エルボ 5個 (使用径は配管用パイプの径によって異なる)
異径ソケット 1個 (配管用パイプがφ 50以下の場合必要)
接着剤

2. 装置設置における注意点 (千葉県浄化槽取扱指導要綱を参照)

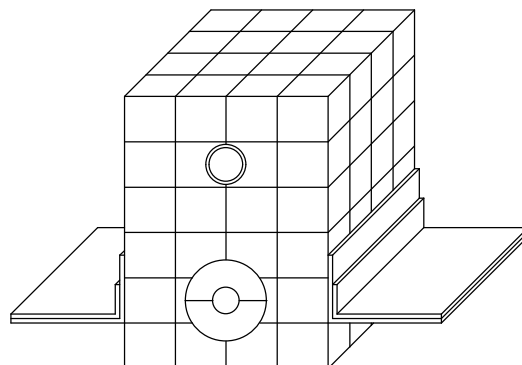
- イ) 隣地境界から1.0m以上、建屋基礎部から1.0m以上。
井戸から5.0m以上、擁壁まで1.5m以上。
がけについては浄化槽指導要綱を参考にして下さい。

- ロ) 雨水の流入がない所に設置して下さい。また降雨時の施工は行わないで下さい。

- ハ) 申請には土質調査書が必要になります。事前に現地透水試験及び地下水位の調査を行って下さい。

- ニ) 地下水位及び遊水が装置底面より1.0m以内にある所には設置しないで下さい。

※不明な点がありましたらご相談下さい。

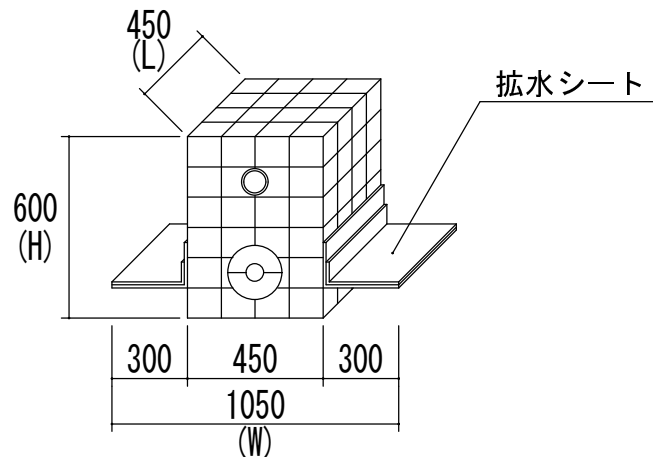


1. 装置の仕様・形状

ユニットの形状

SRS-EPSタイプ

450 (W) × 450 (L) × 600 (H)



2. 位置出し

イ) 合併浄化槽5人槽としての施工

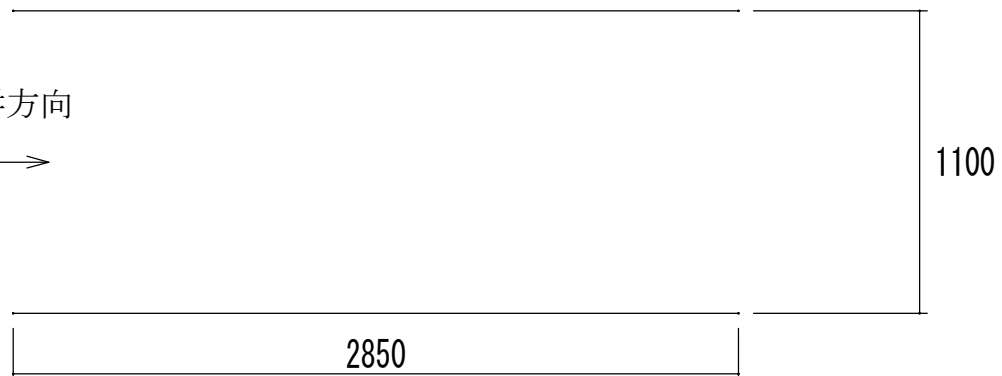
$1000\text{L}/\text{人}\cdot\text{日} \div 200\text{L}/\text{基}$

= 5基として施工説明

ロ) ユニット幅 (0.45 m) + 拡水シート幅 (0.3 × 2 = 0.6 m)

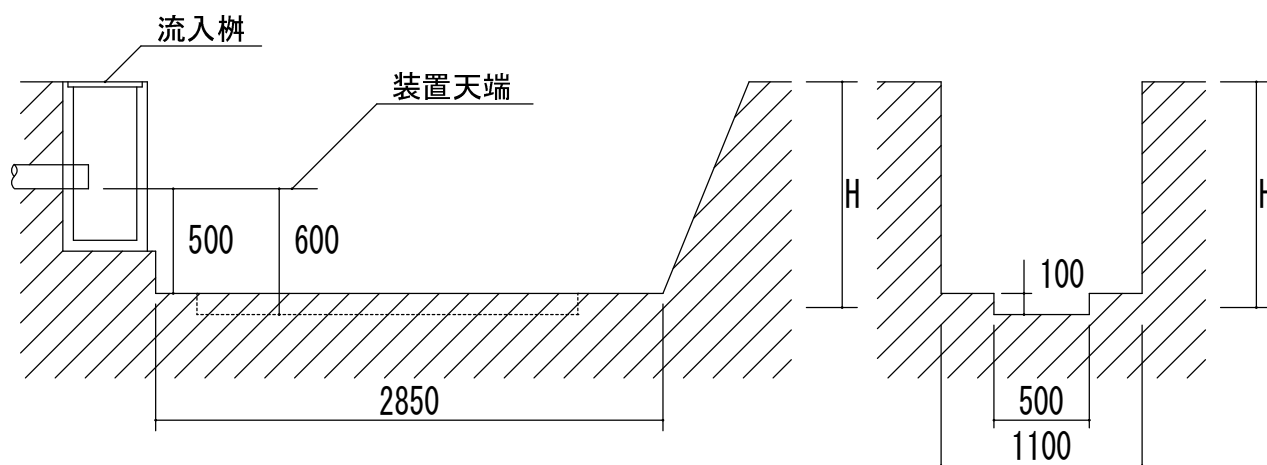
≒ 1.1 mを目安にして下さい。(掘削断面図参考)

流入柵方向

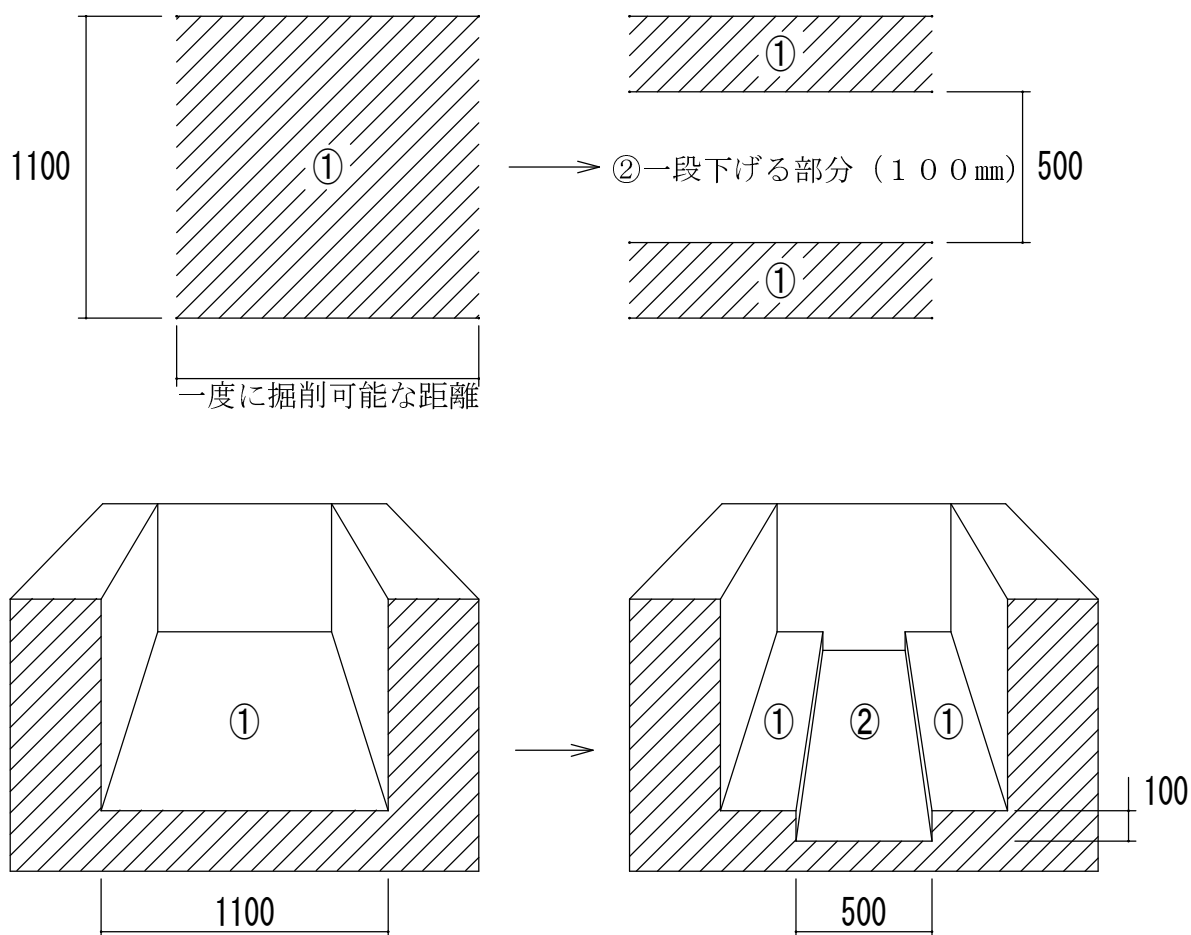


※装置終末に検知管がセットされますのでユニット5基分 (2.25 m) + 0.5 ~ 0.6 mにて位置を決定して下さい。

3. 掘削



- イ) 床付け寸法は浄化槽の放流管底に合わせて決定して下さい。
- ロ) 掘削深が深くなる場合は、浄化槽と流入桝の間に桝を設けてポンプをセットし、ポンプアップにての施工となります。
- ハ) 掘削方法は一度に掘削可能な距離毎に下図の様に、二段掘をして下さい。

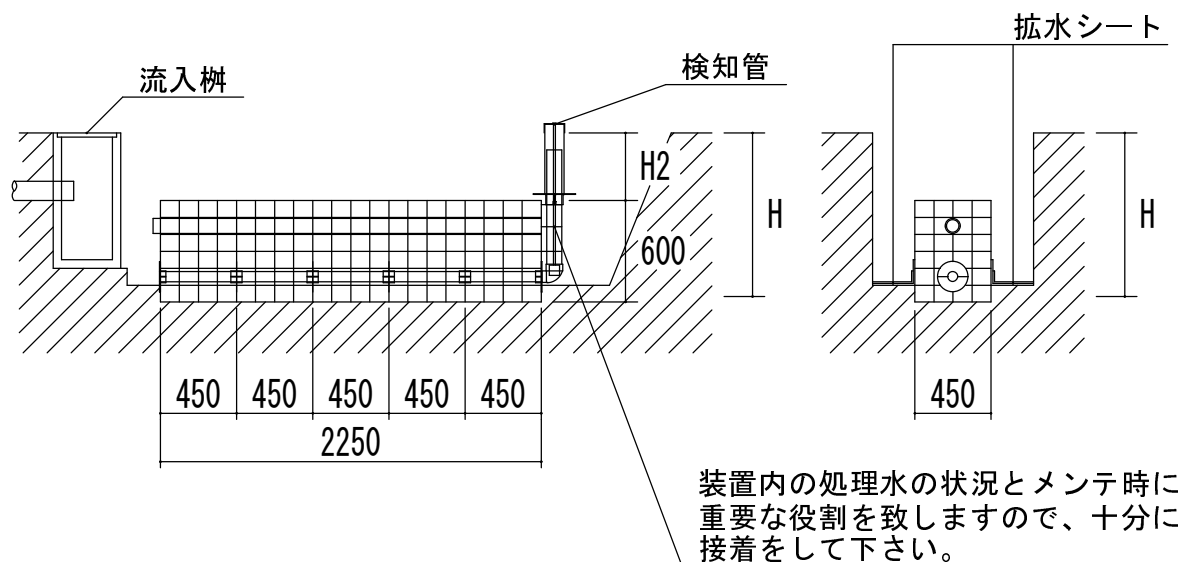


※掘削底部の不陸整正は確実に行って下さい。
拡水シート部分①は水平又は、先の部分が下がり気味に不陸整正を行って
下さい。

4. ユニットの設置（土被り深H 2は浄化槽放流管底にて調整）

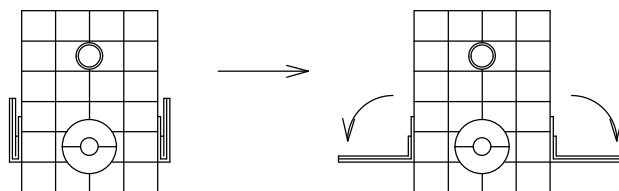
イ) ユニット接続方法は No 6 参照

ユニットの設置向きは装置下部のパイプが受口になっている方を流入柵側にして設置して下さい。



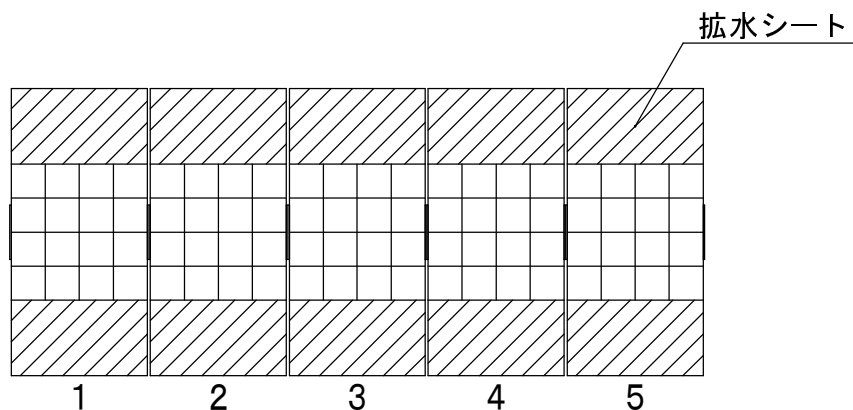
※検知管は必ずユニット底部（φ50のパイプ）に接続して下さい。

ロ) 拡水シートはユニットと結束してありますので、結束部を切り拡水シートを広げて設置して下さい。



※拡水シートは水平又は、先の部分が下がり気味に設置して下さい。

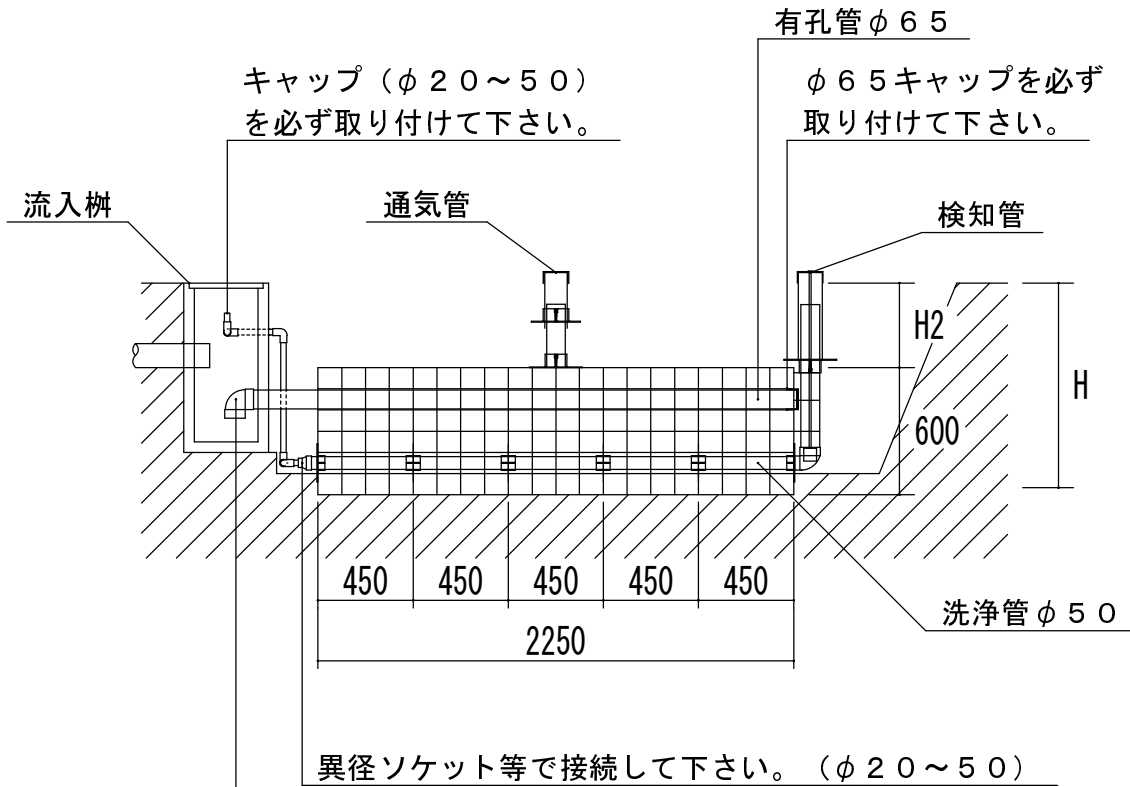
ハ) 拡水シートはユニットを1基設置する毎に広げて設置して下さい。



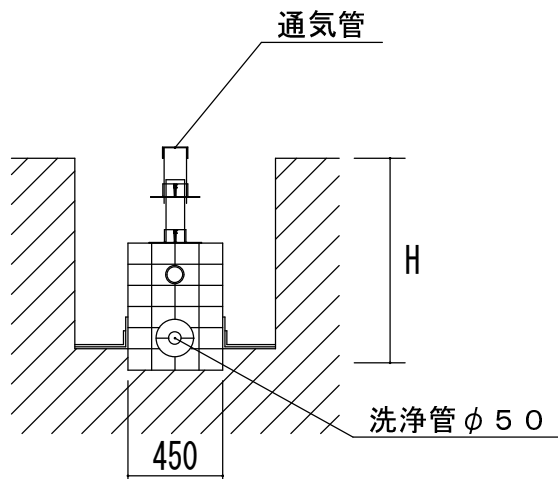
※拡水シートを広げる部分には乗らないで下さい。

5. 流入桝配管、通気管の取付、洗浄管の設置

イ) 通気管は装置の中央部に設置して下さい。

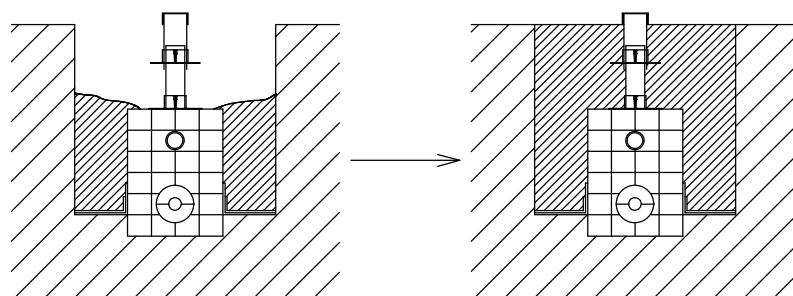


装置流入管はエルボを下向きに取り付けて下さい。(接着不要)



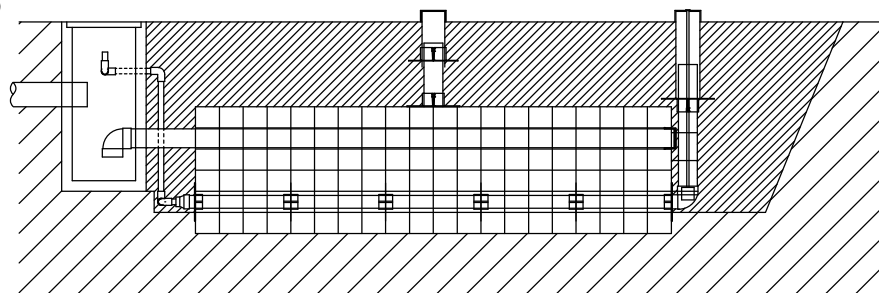
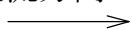
6. 埋め戻し

必ず両側面より埋め戻しをして下さい。



浄化槽からの

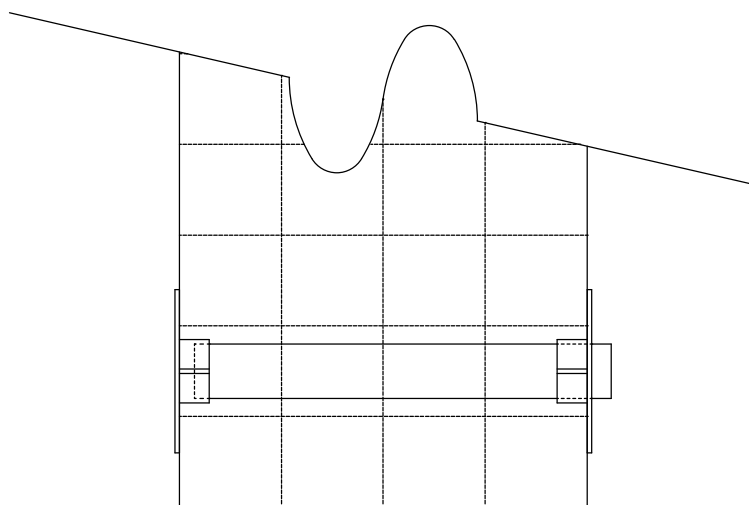
放流方向



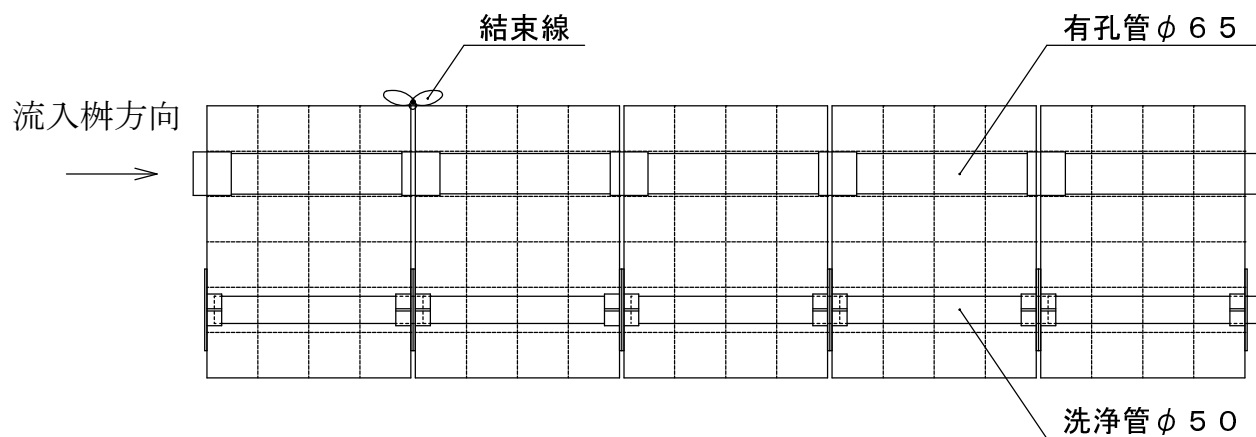
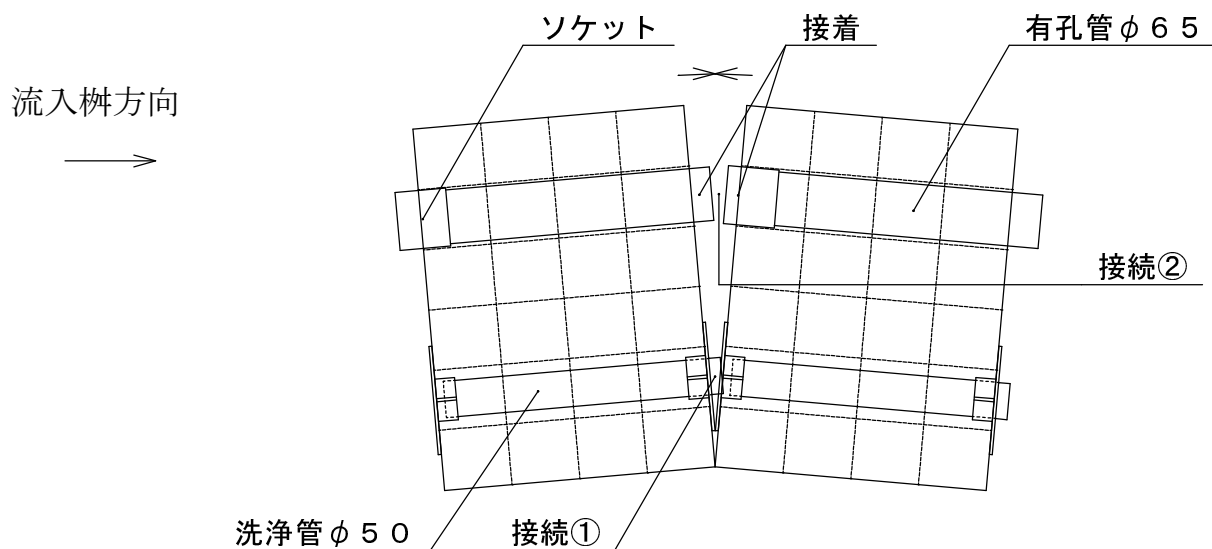
完 成 図

7. ユニット間の接続

- イ) ユニット下部の洗浄管は受口・差口になっています。
- ロ) ユニット上部の有孔管はソケットが付いていますので、接着して下さい。



ユニットを下図の通り接続して下さい。
 ユニットの上部を結束線等によって結束して下さい。



8. 検知管の説明

検知管の亚克力棒部分に延長用のビニールホースがついてますので、装置深さによって、ビニールホースの長さを変える事が可能です。

(最大400mm)

